

(様式第9)

口大医総第
平成22年

厚生労働大臣

殿

開設者名 岡 正

山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	41人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)

- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	246人	87人	315.6人	看護補助者	31人	診療エックス線技師	人
歯科医師	9人	15人	21人	理学療法士	6人	麻酔	49人
薬剤師	36人	人	36人	作業療法士	3人	人	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	5人	検査	人
助産師	18人	人	18人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	602人	33人	627.5人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	人	1人	0.7人	栄養士	2人	その他の技術員	28人
歯科衛生士	1人	1人	1.7人	歯科技工士	1人	事務職員	199人
管理栄養士	9人	人	9人	診療放射線技師	31人	その他の職員	43人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	627.8人	16.8人	644.6人
1日当たり平均外来患者数	1305.4人	53.0人	1358.4人
1日当たり平均調剤数		2436剤	

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を曆日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ曆日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	0人
乳房温存療法における鏡視下液窓郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージI又はIIの乳がんに係るものに限る。)	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類III度又は同分類IV度のものに限る。)に係るものに限る。)	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜瘢痕、眼球癒着(ステイプルス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷瘢痕その他の重症の瘢痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	8人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。)に係るものに限る。)	29人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、膜水又は進行がんに係るものに限る。)	18人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可歯性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第二百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	5人
乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	60人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徵候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。)	4人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	29人	・膿疱性乾癥	4人
・多発性硬化症	50人	・広範脊柱管狭窄症	10人
・重症筋無力症	49人	・原発性胆汁性肝硬変	38人
・全身性エリテマトーデス	93人	・重症急性膵炎	5人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	60人
・再生不良性貧血	24人	・混合性結合組織病	13人
・サルコイドーシス	41人	・原発性免疫不全症候群	5人
・筋萎縮性側索硬化症	34人	・特発性間質性肺炎	4人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	84人	・網膜色素変性症	18人
・特発性血小板減少性紫斑病	57人	・プリオント病	1人
・結節性動脈周囲炎	10人	・肺動脈性肺高血圧症	0人
・潰瘍性大腸炎	127人	・神経線維腫症	12人
・大動脈炎症候群	15人	・亜急性硬化解性全脳炎	0人
・ビュルガー病	30人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	13人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	32人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	69人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	10人	・脊髄性筋委縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	147人	・球脊髄性筋委縮症	0人
・アミロイドーシス	3人	・慢性炎症性脱髓性多発神経炎	4人
・後縦靭帯骨化症	85人	・肥大型心筋症	0人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	37人	・ミトコンドリア病	1人
・ウェグナー肉芽腫症	8人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	34人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オーリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	17人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	19人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・画像等手術支援加算	・
・眼底三次元画像解析	・
・胎児心エコー法(超音波検査)	・
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	CPC8回(13症例), 胸部カンファレンス11回(11症例)
部 檢 の 状 況	部検症例数 15例 / 部検率 7.3%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

1/9

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝硬変に対する自己骨髄細胞の線維化溶解メカニズムの解明と癌病変への影響について	坂井田 功	第一内科	4,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
血管観察トランジエニックメダカを用いた非アルコール性脂肪性肝炎の病態解析	坂井田 功	第一内科	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
肝硬変・肝不全に有用な骨隨由来 Nano-induced Stem Cell (Nano-iSC) 分離培養技術の臨床開発	坂井田 功	第一内科	25,000,000	補委 科学技術振興機構
骨髓由来 liver repair cell (LR細胞) の開発	坂井田 功	第一内科	5,890,000	補委 文部科学省
骨髓および脂肪由来細胞を用いた次世代型 肝臓再生・修復(抗線維化)療法の開発研究	坂井田 功	第一内科	47,600,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
肝発癌抑制を視野に入れた肝硬変の栄養療法のガイドライン作成を目指した総合的研究	坂井田 功	第一内科	500,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
肝がんの新規治療法に関する研究	坂井田 功	第一内科	2,500,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
鉄キレート剤による新たな進行肝細胞癌治療の開発	山崎 隆弘	第一内科	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
末梢血中のメチル化CCND2遺伝子測定による肝癌の低侵襲性予後診断	飯塚 徳男	第一内科	1,900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
非アルコール性脂肪性肝炎関連発癌に対する戦略的研究	寺井 崇二	第一内科	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
小型水棲生物の栄養代謝測定手法に関する研究(その2)	寺井 崇二	第一内科	3,048,418	補委 独立行政法人 宇宙 航空研究開発機構
EBウイルス陽性胃癌の発生におけるDNAメチル化の関与について	西川 潤	第一内科	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
肝細胞癌に対する微小デンプン球を用いた新たな肝動脈塞栓療法の開発	山口 裕樹	第一内科	800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
微細構造からみた骨髓幹細胞の非アルコール性脂肪肝炎と肝硬変に対する修復機構の研究	山本 直樹	第一内科	1,700,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
カプセル化骨髓細胞を用いた新規肝硬変治療の開発	大森 薫	第一内科	1,600,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
重症心不全・致死性不整脈に対する分子標的療法の確立	松崎 益徳	第二内科	4,700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 16

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

2/9

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
冠動脈疾患既往患者における高脂血症治療薬の血管イベント発症の二次予防効果および抗動脈硬化作用を評価する臨床研究(研究略称:PROSPECTIVE)	松崎 益徳	第二内科	195,000	補委 財団法人先端医療振興財団
特発性心筋症に関する調査研究	松崎 益徳	第二内科	1,100,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
わが国の生活習慣病における一次予防のための運動基準策定を目的とした大規模介入研究	松崎 益徳	第二内科	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
リアノジン受容体内シグナル伝達改善による新しい心不全・不整脈治療法の開発	矢野 雅文	第二内科	3,300,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
心肥大に伴う心筋不全の発症・増悪に関わる要因に関する研究	矢野 雅文	第二内科	1,200,000	補委 国立循環器病センター
筋小胞体マイクロドメイン脱リン酸化調節異常を標的にした心不全治療法の開発	池田 安宏	第二内科	1,300,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
細胞内カルシウム放出制御による新しい悪性高熱症・不整脈の治療開発	小林 茂樹	第二内科	900,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
リアノジン受容体分子内特定ドメインをターゲットとした致死的不整脈の新しい治療	山本 健	第二内科	1,000,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
リアノジン受容体内ドメイン連関障害のは是正による致死性不整脈治療法の開発	奥田 真一	第二内科	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
糖尿病を進行させるβ細胞死のメカニズム解明と治療法の開発	谷澤 幸生	第三内科	4,600,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
Wolfram症候群の実態把握および診断法確立のための調査研究	谷澤 幸生	第三内科	20,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
糖尿病診療均てん化のための標準的診療マニュアル作成とその検証－ガイドラインを実用化するためのシステム・体制整備の視点から	谷澤 幸生	第三内科	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
小胞体ストレスによるインスリン分泌障害と糖尿病治療法開発	谷澤 幸生	第三内科	3,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
経口糖尿病薬による糖尿病からの離脱および動脈硬化抑制研究	谷澤 幸生	第三内科	175,000	補委 財団法人循環器病研究振興財団
新規糖輸送促進蛋白CLIP170の機能解析	江本 政広	第三内科	1,300,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
血液神経閻門の人為的改変:難治性末梢神経疾患新規治療法開発へのアプローチ	神田 隆	神経内科	6,600,000	補委 日本学術振興会科学研究費補助金

小計 16

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

3/9

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
三次元的ヒト血液脳関門モデルの構築:抗アミロイド抗体作用機序の解明	神田 隆	神経内科	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ビックースタッフ型脳幹脳炎の本邦における実態把握と病態解明にむけた研究	神田 隆	神経内科	20,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
免疫性神経疾患に関する調査研究	神田 隆	神経内科	1,400,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
ビックースタッフ型脳幹脳炎の本邦における実態把握と病態解明にむけた研究	古賀 道明	神経内科	3,500,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
オリゴ糖複合体形成に伴う分子相同性:カンピロバクター感染後性神経疾患での証明	古賀 道明	神経内科	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
スモンに関する調査研究	川井 元晴	神経内科	700,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
血液脳関門を介したAβ蛋白の脳からの除去促進機構の解明	佐野 泰照	神経内科	1,100,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
ストレス脆弱性モデル動物における神経形態学的变化と神経可塑性異常の検討	渡辺 義文	精神科神経科	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	渡辺 義文	精神科神経科	1,000,000	補委 国立精神・神経センター
気分障害の病態解明と診断治療法の開発に関する研究	渡辺 義文	精神科神経科	3,000,000	補委 国立精神・神経センター
抑うつに関与する脳腸神経ペプチドが気分障害患者の脳基盤異常に与える影響	松尾 幸治	神経内科	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
気分障害の発症機序における選択的スプライシング異常の検討	内田 周作	精神科神経科	1,100,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
プライマリーケアで使用可能な、DNAチップを用いたうつ病の診断指標の作成	内田 周作	精神科神経科	1,500,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
精神疾患の客観的補助診断法の標準化と科学的根拠に基づく治療反応性の判定法の確立	内田 周作	精神科神経科	1,300,000	補委 国立精神・神経センター
抗うつ薬作用機序におけるエピジェネティックな役割の検討	大朏 孝治	精神科神経科	1,200,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
インフルエンザ脳症の発症因子の解明とそれに基づく発症前診断方法の確立に関する研究	市山 高志	小児科	1,500,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金

小計 16

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

4/9

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究	市山 高志	小児科	1,100,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
プリオントウ病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	市山 高志	小児科	4,500,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
遺伝子操作による心筋細胞から心筋幹細胞の作成と心筋再生治療への応用	濱野 公一	第一外科	1,800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
自己骨髓細胞移植による血管再生療法の治療効果を予測するシステムの確立	濱野 公一	第一外科	4,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
低酸素プレコンディショニングによる骨髓細胞の血管再生能の増強と臨床への展開	古谷 彰	第一外科	4,900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
移植細胞の生着率向上に基づく血管新生治療法の開発	桂 春作	第一外科	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
内因性心筋再生を誘導するメカニズムの解明と新たな心筋再生治療法の開発	李 桃生	第一外科	5,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
虚血プレコンディショニングによる心筋保護作用の機序の解明——幹細胞の視点から	森景 則保	第一外科	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
I期原発性肺腺癌におけるDNA損傷応答蛋白発現の臨床的意義	田中 俊樹	第一外科	1,400,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
糖尿病による骨髓細胞の機能低下における酸化ストレスの関与と抗酸化治療の効果	久保 正幸	第一外科	1,300,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
低出力衝撃波照射によるリンパ管再生の誘導とリンパ浮腫治療への応用	白澤 文吾	第一外科	1,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
メチル化遺伝子を用いた早期肝癌診断システムの開発	岡 正朗	第二外科	6,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
肝癌データベースに基づく早期肝癌特異的メチル化遺伝子の同定と機能解析	岡 正朗	第二外科	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
科学技術連携施策群の効果的・効率的な推進 遺伝子・細胞治療に携わる臨床研究者育成	岡 正朗	第二外科	3,499,766	補委 文部科学省
StageⅢ 大腸癌における分子生物学的マーカーによる再発high-risk群とフッ化ビリミジン感受性群の選択に関する研究	岡 正朗	第二外科	50,400	補委 財団法人先端医療振興財団
StageⅢ 大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究- 第?相臨床試験	岡 正朗	第二外科	105,000	補委 財団法人先端医療振興財団

小計 16

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

5/9

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
宿主遺伝子多型と腫瘍遺伝子変異による大腸癌化学療法の効果・毒性予測	裕 彰一	第二外科	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
「治癒切除結腸癌(StageIII)を対象としたフッ化ビリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法の個別化治療に関するコホート研究」(研究略称:B-CAST)	裕 彰一	第二外科	68,500	補委 財団法人先端医療 振興財団
肝細胞癌の新規腫瘍マーカーとしての血液中浮遊DNA量の測定意義	徳久 善弘	第二外科	1,700,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
B7-DC-Immunoglobulin融合蛋白を用いた次世代型免疫療法の開発	吉村 清	第二外科	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
脊髄障害性疼痛症候群の実態の把握と病態の解明に関する研究	田口 敏彦	整形外科	1,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	田口 敏彦	整形外科	1,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
腰痛の診断、治療に関する研究「腰部脊柱管狭窄症の診断・治療法の開発	田口 敏彦	整形外科	1,300,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
医療機器市販後安全情報の医療機関等への情報伝達等に関する研究	田口 敏彦	整形外科	900,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
他人からの手、足同種移植の臨床応用に向けて—キメリズムによる安定した免疫寛容獲得	村松 慶一	整形外科	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
細胞接着因子の操作による慢性期脊髄損傷治療法の開発	鈴木 秀典	整形外科	1,000,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
ラット脊髄損傷後の機能的神経筋電気刺激治療モデルの確立	寒竹 司	整形外科	1,400,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
稀少難治性皮膚疾患克服のための生体試料の収集に関する研究	武藤 正彦	皮膚科	10,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握と治療法の開発等に関する研究	武藤 正彦	皮膚科	1,100,000	補委 山口県
中心体複製異常を指標とした新しい膀胱癌の診断治療方針決定システムの確立をめざして	松山 豪泰	泌尿器科	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
淡明細胞型腎癌患者におけるコピー数多型の解析	坂野 滋	泌尿器科	1,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
KLEIPの発癌機構における役割についての検討	原 貴彦	泌尿器科	600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 16

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

6/9

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
コラーゲン膜応用共培養システムによる角膜の構造及び機能維持機構の解明	西田 輝夫	眼科	7,200,000 補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
先天性角膜混濁の実態把握と診断法確立のための研究	西田 輝夫	眼科	2,500,000 補委	厚生労働省 科学研究費補助金
角膜上皮創傷治癒過程における神経ガイダンス因子の機能解析	高 知愛	眼科	1,300,000 補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
強膜線維芽細胞を介したコラーゲングル吸縮・分解へのプロスタグランジン誘導体の影響	鈴木 克佳	眼科	2,300,000 補委	文部科学省 科学研究費補助金
眼表面に対するプロスタグランジン関連眼圧下降薬タノプロストおよびトラボプロストの影響	鈴木 克佳	眼科	56,000 補委	財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
血液網膜閥門の破綻を修復する新しい薬剤の開発	近本 信彦	眼科	1,700,000 補委	文部科学省 科学研究費補助金
角膜における神経ガイダンス分子の発現と生理的機能の解明	森重 直行	眼科	1,600,000 補委	文部科学省 科学研究費補助金
春季カタルの巨大乳頭形成におけるMCP-1の作用機序に関する検討	藤津 揚一朗	眼科	1,300,000 補委	文部科学省 科学研究費補助金
角膜潰瘍の形成機序及びその新規治療薬の開発	木村 和博	眼科	2,100,000 補委	文部科学省 科学研究費補助金
環境酸素濃度に対する角膜構成細胞の増殖、細胞死、細胞機能に関する研究	柳井 亮二	眼科	1,600,000 補委	文部科学省 科学研究費補助金
内耳熱ショック応答の加齢による変化と老人性難聴への応用	山下 裕司	耳鼻咽喉科	1,700,000 補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
自己免疫性内耳障害の実態把握のための他施設研究	山下 裕司	耳鼻咽喉科	1,000,000 補委	厚生労働省 科学研究費補助金
前庭機能異常に関する調査研究	山下 裕司	耳鼻咽喉科	1,600,000 補委	厚生労働省 科学研究費補助金
前庭神経系の可塑性における前庭神経節の役割に関する研究	下郡 博明	耳鼻咽喉科	400,000 補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
いびきの音響解析と三次元CTによる睡眠呼吸障害患者の上気道閉塞部位診断法の確立	原 浩貴	耳鼻咽喉科	400,000 補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
熱ショック応答を用いた音響障害と老人性難聴予防の研究	御厨 剛史	耳鼻咽喉科	1,180,000 補委	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 16

高度の医療技術の開発及び評価の実績

7/9

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
末梢前庭機能回復過程におけるメカニズムの解明を目指して	竹野 研二	耳鼻咽喉科	600,000	文部科学省 科学研究費補助金
頭頸部扁平上皮癌患者におけるDNA修復酵素遺伝子多型の関連	橋本 智子	耳鼻咽喉科	1,200,000	文部科学省 科学研究費補助金
活性酸素を介した生殖戦略:黄体機能調節における生理活性物質としての活性酸素の役割	杉野 法広	産科婦人科	700,000	日本学術振興会 科学研究費補助金
化学物質の子どもへの健康影響に関するエピジェネティクス評価法の開発	杉野 法広	産科婦人科	3,400,000	厚生労働省 科学研究費補助金
腫瘍抑制性セルピンであるマスピンの子宮頸癌の進展制御機構に関する研究	繩田 修吾	産科婦人科	1,000,000	日本学術振興会 科学研究費補助金
SCC抗原の結合分子の検索と機能解析、臨床的意義の解明および分子標的治療への応用	村上 明弘	産科婦人科	1,000,000	日本学術振興会 科学研究費補助金
ヒト子宮内膜間質細胞におけるプロゲステロンによる遺伝子特異的な調節機構の解明	竹谷 俊明	産科婦人科	2,600,000	文部科学省 科学研究費補助金
Akt(protein kinase B)の活性化による脊髄保護に関する研究	松本 美志也	麻酔科蘇生科	1,200,000	日本学術振興会 科学研究費補助金
遅発性神経細胞死における細胞内エネルギー代謝調節酵素に関する研究	福田 志朗	麻酔科蘇生科	1,000,000	日本学術振興会 科学研究費補助金
虚血性脳障害の分子機構における好中球エラスターーゼの役割に関する検討	平田 孝夫	麻酔科蘇生科	1,600,000	文部科学省 科学研究費補助金
局所脳冷却による大脳神経生理機能の解明と制御—臨床応用をめざして—	鈴木 倫保	脳神経外科	3,300,000	日本学術振興会 科学研究費補助金
発達期における骨格系と脳脊髄液循環動態の発生学的特性に基づく高次脳脊髄機能障害の治療および総合医療に関する研究	鈴木 倫保	脳神経外科	1,000,000	国立精神・神経センター
SPECTを用いた脳血管病変診断法の標準化と臨床的評価	鈴木 倫保	脳神経外科	1,700,000	国立循環器病センター
重症脳卒中における生命倫理に関する研究	鈴木 倫保	脳神経外科	800,000	国立循環器病センター
頸動脈ステント留置術後の血管イベントの発症に関する前向き観察研究(IDEALCAST)	鈴木 倫保	脳神経外科	472,500	財団法人先端医療振興財団
微細振動子のガイドワイヤー化の開発及び、血管内血栓破碎と再開通療法の確立	加藤 祥一	脳神経外科	1,400,000	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 16

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

8/9

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
難治性側頭葉てんかんに対するCryosurgeryを用いた低侵襲治療法の開発	井本 浩哉	脳神経外科	2,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ラットの脳性麻痺による痙攣モデルを利用した、中枢神経の病的線維連絡の解明	野村 貞宏	脳神経外科	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
胚性幹細胞由来大脳皮質細胞を用いた脳神経回路網形成および情報処理・伝達法の開発	出口 誠	脳神経外科	1,200,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
神経作動薬を用いた脳腫瘍幹細胞ターゲット療法の開発	吉川 功一	脳神経外科	600,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
閉塞性睡眠時無呼吸症候群における口腔内装置の治療効果と効果予測因子	上山 吉哉	歯科口腔外科	1,900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
舌筋由来幹細胞を用いた骨再生法	上山 吉哉	歯科口腔外科	6,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
口腔癌化学放射線療法の新規効果予測因子の同定とその発現に基づいた個別化医療の構築	原田 耕志	歯科口腔外科	1,800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
DNAコピー数異常に基づいた口腔扁平上皮癌新規予後マーカーの検討	内田 堅一郎	歯科口腔外科	1,900,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
網羅的プロテオーム解析とプロテオームデータベース構築による救命救急傷病の病態解明	前川 剛志	救急医学	9,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
急性腎障害の早期予後予測：網羅的プロテオーム解析による尿中バイオマーカーの確立	笠岡 俊志	救急医学	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
新しい蘇生後脳症予後判定マーカーは善玉か悪玉か？	泉 友則	救急医学	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
炎症性疾患におけるメディエータとステロイドの相互作用の解明と臨床応用	宮内 崇	先進救急 医療センター	800,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
ラット熱中症モデルにおける活性酸素傷害の解明と治療法の確立	藤田 基	先進救急 医療センター	1,700,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
超音波組織トラッキングによる左室心基部と心尖部での拡張開始時相差と拡張機能の検討	村田 和也	検査部	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
肝癌合併肝硬変を含む自己培養骨髄細胞投与による新規肝臓再生療法をめざした基礎研究	高見 太郎	検査部	1,700,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
難治性不随意運動症状を伴トウレット症候群に対する脳深部刺激の有用性に関する他施設共同研究	藤井 正美	手術部	400,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金

小計 16

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

9/9

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
進行肝細胞癌に対する腫瘍抗原mRNA導入樹状細胞療法	爲佐 卓夫	手術部	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
脊髄虚血後の遅発性対麻痺の病態と炎症性メディエータの関与	山下 敦生	麻酔科蘇生科	1,600,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
プロテオーム解析を用いた膵癌の発癌関連蛋白質の検討と早期診断マーカーの検出	吉野 茂文	腫瘍センター	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
排卵過程においてメラトニンは卵胞内で活性酸素種から卵や顆粒膜細胞を保護する	田村 博史	周産母子センター	2,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
高血圧における酸化ストレス亢進に対する生体防御機構の新たな機序解明	梅本 誠治	臨床試験支援センター	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
IIb型高脂血症患者に対するフェノファイブレートとエゼチミブの単独療法と併用療法のランダム化比較試験	梅本 誠治	臨床試験支援センター	59,000	補委 財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
ウイルス由来のペプチドを利用した心臓標的療法の開発	河村 修二	臨床試験支援センター	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
医療機関内輸血副作用監視体制に関する研究	藤井 康彦	輸血部	6,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
テロの可能性のある病原体等の早期検知・迅速診断法の開発とその評価法の確立に関する研究	尾家 重治	薬剤部	2,500,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
クリーニング所における洗濯物尾消毒方法に関する研究	尾家 重治	薬剤部	1,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計 10
計 138

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochem Biophys Res Commun. 2009 Jan 16;378(3):354-9. Epub 2008 Nov 6.	Continuos intravenous infusion of atrial natriuretic peptide (ANP) prevented liver fibrosis in rat.	Ishigaki N, Yamamoto N, Jin H, Uchida K, Terai S, Sakaida I.	第一内科
Liver Int. 2009 Jul;29(6):838-45. Epub 2008 Nov 25.	Phylogenetic analysis of hepatitis A virus in sera from patients with hepatitis A of various severities.	Fujiwara K, Kojima H, Yonemitsu Y, Yasui S, Imazeki F, Miki M, Suzuki K, Sakaida I, Okita K, Tanaka E, Omata M, Yokosuka O.	第一内科
Gastroenterology. 2009 Feb;136(2):652-62.e3. Epub 2008 Oct 29.	Direct cytopathic effects of particular hepatitis B virus genotypes in severe combined immunodeficiency transgenic with urokinase-type plasminogen activator mouse with human hepatocytes.	Sugiyama M, Tanaka Y, Kurbanov F, Maruyama I, Shimada T, Takahashi S, Shirai T, Hino K, Sakaida I, Mizokami M.	第一内科
Hepatol Res. 2009 Mar;39(3):223-30. Epub 2008 Nov 5.	Hepatic arterial infusion chemotherapy for advanced hepatocellular carcinoma: Is the addition of subcutaneous interferon-alpha-2b beneficial?	Takaki-Hanabe S, Yamasaki T, Saeki I, Harima Y, Okita K, Terai S, Sakaida I.	第一内科
Biochem Biophys Res Commun. 2009 Feb 20;379(4):817-23. Epub 2009 Jan 3.	Hematopoiesis-dependent expression of CD44 in murine hepatic progenitor cells.	Ohata S, Nawa M, Kasama T, Yamasaki T, Sawanobori K, Hata S, Nakamura T, Asaoka Y, Watanabe T, Okamoto H, Hara T, Terai S, Sakaida I, Katada T, Nishina H.	第一内科
Hepatol Res. 2008 Nov;38(s1)The 6 Japan Society of Hepatology Single Topic Conference: Liver Failure: Recent Progress and Pathogenesis to Management. 28-29 September 2007, Iwate, Japan):S72-S75.	Current status of autologous bone marrow cell infusion therapy for liver cirrhosis patients.	Terai S, Sakaida I.	第一内科
Pancreas. 2009 Mar;38(2):224-6.	Interferon-gamma down-regulates heat shock protein 27 of pancreatic cancer cells and helps in the cytotoxic effect of gemcitabine.	Mori-Iwamoto S, Taba K, Kuramitsu Y, Ryozawa S, Tanaka T, Maehara S, Maehara Y, Okita K, Nakamura K, Sakaida I.	第一内科
J Gastrointest Cancer. 2008;39(1-4):29-33. Epub 2009 Feb 24.	Retrospective analysis of the results of strip biopsies to determine the indication for endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer.	Nakamura H, Yanai H, Satake M, Okamoto T, Nishikawa J, Sakaida I, Kawano T, Matsusaki K, Miura O.	第一内科
J Gastroenterol. 2009;44(7):733-41. Epub 2009 Apr 23.	Usefulness of Sonazoid contrast-enhanced ultrasonography for hepatocellular carcinoma: comparison with pathological diagnosis and superparamagnetic iron oxide magnetic resonance images.	Korenaga K, Korenaga M, Furukawa M, Yamasaki T, Sakaida I.	第一内科
Hepatol Res. 2009 Jul;39(7):648-56. Epub 2009 Apr 23.	Case-control study for the identification of virological factors associated with fulminant hepatitis B.	Kusakabe A, Tanaka Y, Mochida S, Nakayama N, Inoue K, Sata M, Isoda N, Kang JH, Sumino Y, Yatsuhashi H, Takikawa Y, Kaneko S, Yamada G, Karino Y, Tanaka E, Kato J, Sakaida I, Izumi N, Suguchi F, Nojiri S, Joh T, Miyakawa Y, Mizokami M.	第一内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Hepatobiliary Pancreat Surg. 2009;16(5):613-7. Epub 2009 Jul 7.	ERCP using double-balloon endoscopes in patients with Roux-en-Y anastomosis.	Ryozawa S, Iwamoto S, Iwano H, Ishigaki N, Taba K, Sakaida I.	第一内科
Endoscopy. 2009;41 Suppl 2:E173-4. Epub 2009 Jul 23.	Use of the light-emitting diode-illuminated endoscope for upper gastrointestinal endoscopy	Kiyotoki S, Nishikawa J, Yanai H, Okamoto T, Higaki S, Taguchi T, Sakaida I.	第一内科
Nat Genet. 2009 Oct;41(10):1105-9. Epub 2009 Sep 13.	Genome-wide association of IL28B with response to pegylated interferon-alpha and ribavirin therapy for chronic hepatitis C.	Tanaka Y, Nishida N, Sugiyama M, Kuroasaki M, Matsuura K, Sakamoto N, Nakagawa M, Korenaga M, Hino K, Hige S, Ito Y, Mita E, Tanaka E, Mochida S, Murawaki Y, Honda M, Sakai A, Hiase Y, Nishiguchi S, Koike A, Sakaida I, Imamura M, Ito K, Yano K, Masaki N, Sugauchi F, Izumi N, Tokunaga K, Mizokami M.	第一内科
Hepatol Res. 2009 Oct;39(10):1039-43.	Diagnosis and treatment of portal hypertension.	Segawa M, Sakaida I.	第一内科
J Am Coll Cardiol	Dantrolene, a therapeutic agent for malignant hyperthermia, markedly improves the function of failing cardiomyocytes by stabilizing inter-domain interactions within the ryanodine receptor	Shigeki Kobayashi	第二内科
Circ J	Inhibitor-1 is Potential Target for Enhancing Sarcoplasmic Reticulum Ca ²⁺ Loading in Failing Hearts	Yasuhiro Ikeda	第二内科
Circ J	Incremental Effects of Eicosapentaenoic Acid on Cardiovascular Events in Statin-Treated Patients With Coronary Artery DiseaseSecondary Prevention Analysis From JELIS	Masunori Matsuzaki	第二内科
J Cardiol	Impact of intraoperative transesophageal echocardiography in cardiac and thoracic aortic surgery: Experience in 1011 cases	Chikage Kihara	第二内科
臨床心臓電気生理	三尖弁輪周囲を旋回する心室頻拍を認めた不整脈源性右室心筋症の1例	吉賀康裕	第二内科
Leukemia Research 2009年7月	The anti-apoptotic role of the unfolded protein response in Bcr-Abl-positive leukemia cells.	Tanimura A	第三内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochem Biophys Res Commun. 2009年7月	DOC2b is a SNARE regulator of glucose-stimulated delayed insulin secretion.	Miyazaki M	第三内科
Int J Hematol. 2009年9月	Increased serum levels of matrix metalloproteinase-9 in acute graft-versus-host disease after allogeneic haematopoietic stem cell transplantation.	Tagami K	第三内科
Int J Hematol. 2009年10月	Recurrent extramedullary relapse of acute myelogenous leukemia after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in a patient with the chromosomal abnormality t(8;21) and CD56-positivity.	Ando T	第三内科
Int J Hematol. 2009年10月	Fluctuations in thrombopoietin, immature platelet fraction, and glycocalicin levels in a patient with cyclic thrombocytopenia.	Yujiri T	第三内科
Intern Med	Neuromyelitis optica with HTLV-1 infection: Different from acute progressive HAM?.	Koga M, et al	神經内科
臨床神経	顔面を含まない半身の温痛覚障害のみを呈した延髓外側梗塞の67歳男性例。	柏村陽子	神經内科
日老医雑誌	急速進行性HTLV-1 associated myelopathy様の症状を呈し、後に成人T細胞白血病を発症した79歳女性例。	春木明代	神經内科
Journal of Psychiatric Research 2010 44: 378-384	Altered gene expression of histone deacetylases in mood disorder patients	Hobara et al.	精神科神經科
Journal of Psychiatric Research 2010 44: 263-270	Aberrant REST-mediated transcriptional regulation in major depressive disorder	Otsuki et al.	精神科神經科
Inflamm Res Apr	Enhancement of activated β 1-integrin expression by prostaglandin E2 via EP receptors in isolated human coronary arterial endothelial cells: implication for the treatment of Kawasaki disease.	Kajimoto M	小兒科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurol Sci Jul	Serial cerebrospinal fluid neurofilament concentrations in bacterial meningitis.	Matsushige T	小児科
Brain Dev 2009 Aug	Matrix metalloproteinase-9 and tissue inhibitor of metalloproteinase-1 in perinatal asphyxia.	Sunagawa S	小児科
Brain Dev 2009 Oct	Serum and cerebrospinal fluid levels of cytokines in human herpesvirus-6 encephalopathy.	Ichiyama T	小児科
J Neurol. 2009 Nov	Serum matrix metalloproteinase-9 and tissue inhibitor of metalloproteinase-1 levels in non-herpetic acute limbic encephalitis.	Ichiyama T	小児科
International Journal of Cancer	Inhibition of accelerated tumor growth by blocking the recruitment of mobilized endothelial progenitor cells after chemotherapy	Junichi Murakami	第一外科
Journal of the American College of Cardiology	Ischemic pre-conditioning enhances the mobilization and recruitment of bone marrow stem cells to protect against ischemia/reperfusion injury in the late phase	Takahiro Kamota	第一外科
Journal of Cellular Physiology	Increased expression of CXCR4 and integrin α M in Hypoxia-Preconditioned cells contributes to improved cell retention and angiogenic potency	Masayuki Kubo	第一外科
Circulation	Identification of risk factors related to poor angiogenic potency of bone marrow cells from different patients	Tao-Sheng Li	第一外科
Cancer Biology & Therapy	DNA damage signaling is activated during cancer progression in human colorectal carcinoma	Kazuhito Oka	第一外科
Atherosclerosis	Lysyl oxidase resolves inflammation by reducing monocyte chemoattractant protein-1 in abdominal aortic aneurysm	Masahiko Onoda	第一外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Oncol. 2010 Jan;36(1):205-12.	The assessment of methylated BASP1 and SRD5A2 levels in the detection of early hepatocellular carcinoma.	Tsunedomia R	第二外科
Anticancer Res. 2009 Feb;29(2):539-44.	Concomitant overexpression of heat-shock protein 70 and HLA class-I in hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma.	Yoshida S	第二外科
Int J Cancer. 2009 Jul 15;125(2):388-97.	Methylation of multiple genes as molecular markers for diagnosis of a small, well-differentiated hepatocellular carcinoma.	Moribe T	第二外科
Cancer Res. 2009 Sep 15;69(18):7320-8.	Integrin {alpha}2 Mediates Selective Metastasis to the Liver.	Yoshimura K	第二外科
Anticancer Res. 2009 May;29(5):1527-32.	Increased prevalence of regulatory T-cells in the peripheral blood of patients with gastrointestinal cancer.	Tokuno K	第二外科
Orthopedics 2009.7	Treatment of giant cell tumor of long bones : clinical outcome and reconstructive strategy for lower and upper limbs.	Muramatsu K, Ihara K, Taguchi T.	整形外科
Anticancer Res 2009.5	Reconstruction of periacetabular bone tumor by vascularized fibula graft and irradiated sutograft.	Muramatsu K, Ihara K, Tani Y, Taguchi T.	整形外科
J Surg Res 2009.1	Intragraft chimerism following composite tissue allograft.	Muramatsu K, Kuriyama R, Taguchi T.	整形外科
Ann Plast Surg 2009.1	Sarcoma in the forearm and hand : clinical outcomes and microsurgical reconstruction for limb salvage.	Muramatsu K, Ihara K, Doi K, Hashimoto T, Taguchi T.	整形外科
日本マイクロサーボジャーナル 学会会誌 2009.1	国内での手同種移植臨床応用に向けて克服すべきハードル	村松慶一	整形外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Orthopedics 2009.7	Two different types of bowler's thumb.	Muramatsu K,Yoshida K,Taguchi T.	整形外科
Arch Orthop Trauma Surg 2009.7	Calcific myonecrosis of the lower leg : diagnosis and options of treatment.	Muramatsu K,Ihara K,Seki T,Imagama T,Taguchi T.	整形外科
Orthopedics 2009.4	Langerhans cell histiocytosis of the acetabulum in adults.	Muramatsu K,Suetomi Y,Taguchi T.	整形外科
西日本皮膚科(2009)	c-kit解析を行った小児肥満細胞症の2例	竹本朱美	皮膚科
J. Dermatol. (2010)	Case of atypical fibroxanthoma presenting immunoactivity against CD 10 and CD 99.	Nakamura Y.	皮膚科
西日本皮膚科(印刷中)	骨髄線維症に合併した全身性強皮症の1例	竹本朱美	皮膚科
J. Dermatol. (in press)	A case of psoriasis verrucosa.	Wakamatsu K.	皮膚科
Cancer Genetics & Cytogenetics	Intracellular Centrosome Number is correlated with Copy Number of Chromosome in Bladder Cancer.	Yoshiaki Yamamoto	泌尿器科
The Journal of Urology	Validation of a prognostic calculator for prediction of early vesicoureteral reflux resolution in children.	Koji Shiraishi	泌尿器科
Cancer Science	Association of TP53 and MDM2 polymorphisms with survival in bladder cancer patients treated with chemoradiotherapy.	Asano Shinohara	泌尿器科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Pediatric Surgery	Effects of grade 1 varicocele detected in the pediatric age-group on testicular development.	Koji Shiraishi	泌尿器科
Aktuelle Urologie	Surgical repair of pelvic-floor prolapse: lessons learned from longitudinal follow-up of quality-of-life survey	Hideyasu Matsuyama	泌尿器科
Journal of Leukocyte Biology	Integrin-mediated inhibition of interleukin-8 secretion from human neutrophils by collagen type I	WY Quan	眼科
Biochem Biophys Res Commun.	Expression of semaphorin 3A in the rat corneal epithelium during wound healing.	Naoyuki Morishige	眼科
Journal of Allergy and Clinical Immunology	Reciprocal interaction of the conjunctiva and cornea in ocular allergy.	Ken Fukuda	眼科
Investigative Ophthalmology and Visual Science	Disruption of ZO-1 Localization in the Rabbit Corneal Epithelium by Contact Lens-Induced Hypoxia.	Ryoji Yanai	眼科
Investigative Ophthalmology and Visual Science	Detection of Subepithelial Fibrosis Associated with Corneal Stromal Edema by Second Harmonic Generation Imaging Microscopy.	Naoyuki Morishige	眼科
Investigative Ophthalmology and Visual Science	Up-Regulation of ZO-1 in Cultured Human Corneal Epithelial Cells by a Peptide(PHSRN) Corresponding to the Second Cell-Binding Site of Fibronectin	Ryoji Yanai	眼科
Investigative Ophthalmology and Visual Science	Upregulation of Connexin43 Expression in Corneal Fibroblasts by Corneal Epithelial Cells	Ji-Ae Ko	眼科
J Allergy Clin Immunol.	Critical role of IgE-dependent mast cell activation in a murine model of allergic conjunctivitis.	Ken Fukuda	眼科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Investigative Ophthalmology and Visual Science	Role of Formation of an ERK-FAK-Paxillin Complex in Migration of Human Corneal Epithelial Cells during Wound Closure In Vitro	Shinichiro Teranishi	眼科
Neuroscience Letters 449 (2009) : 207-210, 2009	Unilateral intra-perilymphatic infusion of substance P enhances ipsilateral vestibulo-ocular reflex gains in the sinusoidal rotation test.	Hiroshi Orita Hiroaki Shimogori Hiroshi Yamashita	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 81 (8) : 521-525, 2009	MRI拡散強調像が有用であった中耳真珠腫例	菅原一真, 下郡博明, 橋本 誠, 御厨剛史, 山下裕司	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床 106 (6) : 451-456, 2009	巨大な口腔底類皮囊胞例	金川英寿, 堀池修, 橋本 誠, 山下裕司	耳鼻咽喉科
Jpn J Radiol 2010; 28:193-198	Usefulness of computed tomography enteroclysis in the intestinal tract	Hideko Onoda,Kensaku Shimizu,Yasuo Wasida,Naofumi Matsunaga,Shingo Higaki,Shinichi Hashimoto,Takaharu Matsunga,Isao Sakaida	放射線科
American Journal of Roentgenology 2009; 193:1607-1614	MRI of Soft-Tissue Tumors: Fast STIR Sequence as Substitute for T1-Weighted Fat-Suppressed Contrast-Enhanced Spin-Echo Sequence	Osamu Tokuda, Yuko Harada, Naofumi Matsunaga	放射線科
Ann Nucl Med. 2009; 23(6):523-53	Differential diagnosis between (18)F-FDG-avid metastatic lymph nodes in non-small cell lung cancer and benign nodes on dual-time point PET/CT scan	Suga K, Kawakami Y, Hiyama A, Sugi K, Okabe K, Matsumoto T, Ueda K, Tanaka N, Matsunaga N	放射線科
Clin Nucl Med 2009;34(11):788-790	F-18 FDG PET/CT findings in a case of gastric relapse of acute myeloblastic leukemia	Suga K, Kawakami Y, Hiyama A, Takeda K, Tanizawa Y, Matsunaga N	放射線科
Ann Nucl Med 2009;23(4):413-419	Findings of hepatopulmonary syndrome on breath-hold perfusion SPECT-CT fusion images	Kazuyoshi Suga,Yasuhiro Kawakami,Hideyuki Iwanaga,Osamu Tokuda,Naofumi Matsunaga	放射線科
Fertility and sterility 92: 328-343 2009	Melatonin and the ovary; physiological and pathophysiological implications.	Tamura H, Nakamura Y, Korkmaz A, Manchester LC, Tan DX, Sugino N, Reiter RJ	産科婦人科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Ovarian Research 2: 1 (doi:10.1186/1757-2215-2-1)	Luteal blood flow and luteal function.	Takasaki A, Tamura H, Taniguchi K, Asada H, Taketani T, Matsuoka A, Yamagata Y, Shimamura K, Morioka H, Sugino N	産科婦人科
Human Reproduction 24: 1126-1132. 2009	DNA methyltransferase expression in the human endometrium: down-regulation by progesterone and estrogen.	Yamagata Y, Asada H, Tamura I, Lee L, Maekawa R, Taniguchi K, Taketani T, Matsuoka A, Tamura H, Sugino N	産科婦人科
Molecular Human Reproduction 15: 259-267 2009	Aberrant DNA methylation status in human uterine leiomyoma.	Yamagata Y, Maekawa R, Asada H, Taketani T, Tamura I, Tamura H, Ohgane J, Hattori N, Shiota K, Sugino N	産科婦人科
Fertility and sterility 91: 998-1004. 2009	Pathophysiological features of thin endometrium.	Miwa I, Tamura H, Takasaki A, Yamagata Y, Shimamura K, Sugino N	産科婦人科
Brain Research 1301:171-179, 2009	Repeated preconditioning with hyperbaric oxygen induces neuroprotection against forebrain ischemia via suppression of p38 mitogen activated protein kinase.	Satoshi Yamashita, Takao Hirata, Yoichi Mizukami, Ying Jun Cui, Shiro Fukuda, Kazuyoshi Ishida, Mishiya Matsumoto, Takefumi Sakabe	麻酔科蘇生科
Neurosurgery 64(2) : 110-122, 2009	Kenichi Saito, Masami Fujii, Koji Kajiwara, Michiyasu Suzuki : Introducing Site Track : Continuous patient motion monitoring during stereotactic radiotherapy for the head	K.i Saito, M. Fujii, K. Kajiwara, M. Suzuki	脳神経外科
Stereotactic and Functional Neurosurgery 87: 182-190, 2009	Successful Stereotactic Radiosurgery with the CyberKnifeR of a Giant Arteriovenous Malformation of the Tongue	K. Saito, Y. Imate, T. Fukuda, K. Kajiwara, H. Ishihara, M. Suzuki	脳神経外科
Journal of Neurosurgery	Benign fibrous histiocytoma of the skull with increased intracranial pressure caused by cerebral venous sinus occlusion	M. Ideguchi, K. Kajiwara, K. Yoshikawa, S. Kato, M. Fujii, H. Fujisawa, M. Suzuki	脳神経外科
Journal of Neurosurgery 110(6) : 1209-1217, 2009	The influence of focal brain cooling on neurophysiopathology: validation for clinical application	T. Oku, M. Fujii, N. Tanaka, H. Imoto, J. Uchiyama, Fumiaki Oka, I. Kunitsugu, H. Fujioka, S. Nomura, K. Kajiwara, H. Fujisawa, S. Kato, T. Saito, M. Suzuki	脳神経外科
Journal of Clinical Neuroscience 16 : 1064-1068, 2009	Elevated concentrations of sphingophosphorylcholine in cerebrospinal fluid after subarachnoid hemorrhage:A possible role as a spasmogen	T. Kurokawa, Y. Yumiya, H. Fujisawa, S. Shirao, S. Kashiwagi, M. Sato, H. Kishi, S. Miwa, K. Mogami, S. Kato, T. Akimura, M. Soma, K. Ogasawara, A. Ogawa, S. Kobayashi, M. Suzuki	脳神経外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurosurg Pediatrics 3 : 316-319, 2009	Cerebrovascular moyamoya disease in a 5-year-old girl who underwent interruption of the right common carotid artery in the neonatal period	Y. Maeda, S. Nomura, T. Kurokawa, H. Ishihara, K. Harada, H. Yoneda, S. Kato, H. Fujisawa, M. Suzuki	脳神経外科
Circulation, 120: S1157-S1158, 2009	Sphingosylphosphorylcholine is a novel trigger for cholesterol-dependent smooth muscle contraction mediated by Rho-kinase in the rat basilar artery	S Shirao, M Fujii, H Koizumi, S Nomura, S Kato, M Suzuki	脳神経外科
Resuscitation	Serum glial fibrillary acidic protein as a predictive biomarker of neurological outcome after cardiac arrest.	Tadashi Kaneko, Shunji Kasaoka, Takashi Miyauchi, Motoki Fujita, Yasutaka Oda, Ryosuke Tsuruta, Tsuyoshi Maekawa	先進救急医療センター
BMC Infect Dis.	Serum macrophage migration inhibitory factor reflects adrenal function in hypothalamo-pituitary-adrenal axis in septic patients: an observational study.	Takashi Miyauchi, Ryosuke Tsuruta, Motoki Fujita, Tadashi Kaneko, Shunji Kasaoka, Tsuyoshi Maekawa	先進救急医療センター
Neurocrit Care.	High-mobility group box 1 protein in CSF of patients with subarachnoid hemorrhage.	Takashi Nakahara, Ryosuke Tsuruta, Tadashi Kaneko, Susumu Yamashita, Motoki Fujita, Shunji Kasaoka, Teruto Hashiguchi, Michiyasu Suzuki, Ikuro Maruyama, Tsuyoshi Maekawa	先進救急医療センター
Brain Res Bull.	Prognostic value of biochemical markers of brain damage and oxidative stress in post-surgical aneurysmal subarachnoid hemorrhage patients.	Kotaro Kaneda, Motoki Fujita, Susumu Yamashita, Tadashi Kaneko, Yoshikatsu Kawamura, Tomonori Izumi, Ryosuke Tsuruta, Shunji Kasaoka, Tsuyoshi Maekawa	先進救急医療センター
J Crit Care.	Real-time monitoring of heart rate variability in critically ill patients.	Shunji Kasaoka, Takashi Nakahara, Yoshikatsu Nakahara, Ryosuke Tsuruta, Tsuyoshi Maekawa	先進救急医療センター
J Obstet Gynaecol Res. 2009 Aug;35(4):640-7.	Modified sequential laser photocoagulation of placental communicating vessels for twin-twin transfusion syndrome to prevent fetal demise of the donor twin.	Nakata M	周産母子センター
Taiwan J Obstet Gynecol. 2009 Sep;48(3):317-8.	Prenatal diagnosis of pentalogy of cantrell with craniorachischisis by three-dimensional ultrasonography in the first trimester.	Murata S	周産母子センター
J Obstet Gynaecol Res. 2009 Oct;35(5):983-6.	Two cases of reversal of twin-twin transfusion syndrome diagnosed by measuring hourly fetal urine production.	Sumie M	周産母子センター

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ann Nucl Med 2009; 23(4):399-407	Differentiation of FDG-avid loco-regional recurrent and compromised benign lesions after surgery for breast cancer with dual-time point F-18-fluorodeoxy-glucose PET/CT scan	Kazuyoshi Suga, Yasuhiko Kawakami, Atsuto Hiyama, Naofumi Matsunaga	放射線部
Clin Nucl Med. 2010;35(2):116-120.	F-18 FDG PET/CT findings in a case of T-cell lymphoma-associated hemophagocytic syndrome with liver involvement	Suga K, Kawakami Y, Hiyama A, Matsunaga N, Imoto S, Fukuda N, Miyazaki M	放射線部
Clin Nucl Med. 2009;34(5):314-315	F-18 FDG PET/CT findings of a case of complete hydatidiform mole	Suga K, Nawata S, Kawakami Y, Hiyama A, Hori K, Matsunaga N	放射線部
Ann Nucl Med. 2009; 23(5):427-435	Dual-time point 18F-FDG PET/CT scan for differentiation between 18F-FDG-avid non-small cell lung cancer and benign lesions	Suga K, Kawakami Y, Hiyama A, Sugi K, Okabe K, Matsumoto T, Ueda K, Tanaka N, Matsunaga N	放射線部
J Gastroenterol 2009;44:733-741	Usefulness of Sonazoid contrast-enhanced ultrasonography for hepatocellular carcinoma: comparison with pathological diagnosis and superparamagnetic iron oxide magnetic resonance images	Keiko Korenaga, Masaaki Korenaga, Matakazu Furukawa, Takahiro Yamasaki, Isao	放射線部
J. Food Drug Analysis, 17, 255-228, 2009	Comparison of particulate contamination in glass and plastic ampoules of Glycyrrhizin injections after ampoule cutting	Yorioka K, Oie S, Kamiya A	薬剤部
BMC Infect. Dis., 9: 123, 2009	In vitro antimicrobial effects of aztreonam, colistin, and the 3-drug combination of aztreonam, ceftazidime and amikacin on metallo-β-lactamase-producing <i>Pseudomonas aeruginosa</i>	Oie S, Fukui Y, Yamamoto M, Masuda Y, Kamiya A	薬剤部
環境感染, 24, 260-263, 2009	新しい湿潤剤を配合した速乾性手指消毒薬の抗菌効果ならびに保湿効果	尾家重治, 神谷 晃	薬剤部
感染制御, 5, 237-242, 2009	術前手指消毒におけるウォーターレス法(ラビング法)の効果	尾家重治, 家大輔, 神谷 晃, 宮崎綾子, 宇多川文子, 福田美登里, 藤井正美, 鈴木倫保	薬剤部

計 9

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものの中、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

合計 109

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 岡 正朗
管理担当者氏名	総務課長 小野 潔 医事課長 杉山 美由紀

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録			
病院日誌	総務課	紙媒体のカルテは入院、外来別に1患者1ファイル方式として、保存整理している。	
処方せん	薬剤部		
手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療録センター 医療情報部	2009年9月より順次電子カルテシステムに移行し、移行後は電子媒体で保管している。	
各科診療日誌、エックス線写真	各診療科		
病院の管理及び運営に関する諸記録			
従業者数を明らかにする帳簿	総務課		
高度の医療の提供の実績	医事課		
高度の医療技術の開発及び評価の実績	学術研究部研究推進課 小串地区研究・運営支援室		
高度の医療の研修の実績	総務課		
閲覧実績	総務課		
紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課		
第規一則号第に一掲条げのる十体制第一確項保各の号状況及び第九条の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全推進室 医療安全推進室 医療安全推進室 医療安全推進室 総務課 総務課 総務課 医事課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録 規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課	
	院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御室	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME 機器管理センター	
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME 機器管理センター	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME 機器管理センター	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	ME 機器管理センター	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 岡 正朗
閲覧担当者氏名	総務課長 小野 潔 医事課長 杉山 美由紀
閲覧の求めに応じる場所	医学部本館2階 閲覧室 外来診療棟1階 患者相談室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	71.4%	算 定 期 間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数 B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数 C：救急用自動車によって搬入された患者の数 D：初診の患者の数		9,972人 5,582人 1,156人 17,832人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容： (1) 本院の医療事故防止及び医療の安全管理に関する総合的な体制整備等について (2) 医療事故防止のための安全管理及び医療事故発生時の対応に関すること (3) 医療安全・事故等の防止に関する事項について、病院全体で取り組むための委員会及び推進室の設置並びに業務内容・規程整備等について (4) 医療事故防止のための安全管理に関する教育・研修会等を開催することについて	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容： (1) 医療事故の未然防止のための具体的方策・実施計画の策定 (2) リスクマニュアル、インフォームド・コンセントの整備・監修、リスクマネジャーの統括 (3) アクシデント・インシデント報告の分析、フィードバック (4) 医療事故防止のため、職員に対する指導及び教育・研修の企画・立案 (5) 医療安全推進室から提言された医療安全に関する事項の検討	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年15回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：（内訳は別紙のとおり） (1) 全職員を対象に、職種関係なく横断的に医療安全に関する考え方や医療事故防止策について教育・研修を行う。本院で発生している事例を参考にテーマを決めて院内講師により研修を行う。 また、外部講師により裁判事例や社会情勢について講演してもらい、医療事故講師対策の研修を行う。 (2) 新規(中途)採用医師を対象に、特に医師が起こしやすい事例を参考に行う。主に薬剤関係、輸血、インフォームド・コンセント及び救急対応等の安全管理を中心に行う。 (3) 研修医を対象に、医師としての心構え（患者への対応など）をはじめ、他職種との連携など相対的な部分と医師が起こしやすい事例などを挙げて年度初めに研修を行う。 (4) 新人看護師とコメディカルを対象に、本院のリスクマネジメントの研修を行う。また、新人看護師を対象として、看護師の業務を中心に医療事故防止策・医療の安全について研修を行う。 また、1年目に起こしやすい事例を挙げ具体的に学ぶ。	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機関内における事故報告等の整備その他の改善の方策の主な内容： <p>医療安全推進室において、アクシデント・インシデント報告について分析・再発防止策等の検討を行い、医療安全推進室会議及び医療安全管理委員会に提示して、審議のうえ決定され、リスクマネジャー連絡会議等で、教育・指導を行い再発防止策等の決定事項を周知した。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（2名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（2名）・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無

(別 紙)

医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況内訳

全職員対象： 3回

開催日	研修名
21.07.14	当院で最近経験した事例の分析と対策
21.12.08	RCA(根本原因分析)について
22.03.03	医療安全管理体制について 他

新規採用医師： 1回

開催日	研修名
21.04.28	これだけは知ってほしい本院のリスクマネジメント

研修医： 2回

開催日	研修名
21.04.01	医療事故防止について I
21.04.01	医療事故防止について II

看護師等： 9回

開催日	研修名
21.04.01	リスクマネジメント
21.06.03	臨床看護における安全対策
21.06.11	深部静脈血栓症／肺血栓塞栓予防
21.07.08	輸液ライン管理、CVカテーテル挿入中の管理
21.08.06	安全な気管内吸引
21.08.27	経腸栄養療法の管理
21.10.21	インスリン注射のリスクマネージメントのために
21.11.04	医療ガスの安全な取り扱い
22.01.12	ベッドの使用に関連した安全対策

(様式第13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無		
<ul style="list-style-type: none">・指針の主な内容： (1) 感染対策に関する基本的考え方 (2) 医療関連感染対策のための委員会の組織に関する基本的事項 (3) 医療関連感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 (4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 (5) 医療関連感染発生時の対応に関する基本方針 (6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 (7) 本病院における医療関連感染対策の推進のために必要な基本方針			
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年13回 ※うち1回は、肝炎対策専門委員会との合同委員会を開催		
<ul style="list-style-type: none">・活動の主な内容： (1) 感染の予防に関すること (2) 予防対策実施の指導に関すること (3) 感染予防の教育に関すること (4) 職員の検診とその実施に関すること (5) 検診結果に基づく判定及び事後指導に関すること (6) 院内感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること (7) 山口大学医学部附属病院感染制御室の管理及び運営に関すること			
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年13回		
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容： (1) 医療関連感染防止のための基本的知識の習得 (2) 処置別感染防止のための基本的知識の習得と最新の情報を知る (3) 抗菌薬の適正使用に関連したこと (4) 職業感染対策について			
平成21年度については、以下の内容で全職員を対象として研修を実施した。			
月日	テーマ	講師	ビデオ講習会
21.05.08	標準予防策/感染経路別予防策について 新型インフルエンザ対策	院内講師	
21.06.05	肺炎 -どのように診断し治療するか-	院内講師	21.06.11
21.07.10	流行性ウイルス感染症と感染対策 ワクチン接種の必要なわけ	院内講師	
21.08.05	検体の正しい採取と提出方法	院内講師	
21.09.11	消毒と滅菌	院内講師	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回

- 研修の主な内容 :

平成21年度については、以下の内容で研修を実施した。

研修日	対象者	研修内容	講師等
21. 04. 01	研修医	麻薬の取り扱いについて 処方箋の取り扱いについて	薬剤部長
21. 04. 02	新任看護師	薬剤部の機構と運営	副薬剤部長
21. 04. 28	新規(中途) 採用医師等	くすりによる事故を起こさないために	副薬剤部長
21. 10. 14	新任看護師	臨床に役立つ薬剤に関するリスク管理	注射調剤主査

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況
--

- 手順書の作成 (有・無)

- 業務の主な内容 :

- (1) 医薬品の採用・購入に関する事項
- (2) 医薬品の管理に関する事項(麻薬等の管理方法等)
- (3) 患者の持参薬歴等の収集方法、処方箋の記載方法
- (4) 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項
- (5) 医薬品の安全使用にかかる情報の取り扱いに関する事項
- (6) 他施設(病院等、薬局等)との連携に関する事項

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況
--

- 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)

- その他の改善の方策の主な内容 :

(情報収集の方法)

- ・ 薬品メーカー・製薬会社からの情報提供
- ・ 薬剤師会等からの情報提供
- ・ インターネットを使用し、医薬品の安全使用のための情報収集
- ・ 医療安全推進室と連携し、他病院の事故事例の収集

(情報の周知方法)

- ・ 薬剤部より「薬剤部だより」「D I 月報」を発行している。
- ・ オーダーなど病院情報システムを利用するものについては、医療情報部と連携し、情報を当該端末機に院内限定のホームページでお知らせする。
- ・ リスクマネジャー連絡会議などを通じて事故防止・対策の周知を行っている。

(様式第13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	[有]・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：有効性・安全性に関する事項、使用方法に関する事項、保守点検に関する事項、不具合が発生した場合の対応、法令上遵守すべき事項 等	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 ([有]・無)保守点検の主な内容：定期点検(1年、半年)、日常点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 ([有]・無)その他の改善の方策の主な内容：情報の周知と安全使用の意識の向上を図るために、「MEだより」「医療機器安全ニュース」を発行している。	